

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立海老江東小学校

令和8年4月

## I 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校では、大阪市教育振興基本計画の3つの最重要目標である【安全・安心な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】【学びを支える教育環境の充実】における目標において、本校が未達成である項目を洗い出し、教職員で共通理解したうえで「運営に関する計画」の年度目標に設定し、取り組み内容及び指標を設定して取り組んできた。その結果、以下のような成果と課題が見られる。

**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度も、「心を育てる」を学校経営の重点に据え、道德の時間を中心とした指導の工夫はもとより、異学年による集団活動の取組(スマイル班活動)や、地域の人材を活用した体験的な活動など、自分や他者を大切に思い行動することや感謝する心の育成に取り組んできた。
- また、いじめ・不登校の早期対応に努めるとともに、毎月のいじめ対策委員会(生活指導連絡会)や校内支援会議を行い、事案の共通理解や見立て、役割分担などを明確にしながら、「チーム学校」として、スクールカウンセラーや区の子育て支援室等と連携しながら、学校全体で対応に当たってきた。これらにより、不登校の未然防止やいじめにつながる事案、いじめ問題の解消に成果が表れてきている。
- 課題としては、登校はしているものの教室に入りにくい児童が複数名いることから、引き続き、学級、学年だけでなく、学校全体で、人権意識の向上や多様性を認めあえる学校風土の醸成に努めていく必要がある。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 5年間の国語科の校内研究の成果をもとに、今年度より、総合的読解力育成カリキュラムを活用した「言語活動を通して総合的読解力を育成する」を研究テーマに、「大阪市総合教育センター実践校」として、より豊かな自分の考えの発信・表現ができる児童の育成をめざして研究実践に取り組んできた。その結果、校内アンケートで「自分の意見や考えをみんなに発表したり、相手に話したりすることができていますか。」について、肯定的回答が89.4%と、目標値の80%を大きく上回った。
- また、日々の「わかる」「楽しい」授業の実践や、自主学習習慣の定着に向けた取り組みなどにより、大阪市小学校学力経年調査の結果では、3年から6年の全学年において、国語・算数・社会・理科のすべての教科で大阪市平均を上回った。
- 学力に課題のある児童が増加していることが課題であったことから、2学期から毎週金曜日に40分授業を導入し、捻出した20分間を「かいとうタイム」として児童一人一人の学習の状況に応じた学びの時間としたことで、4年から6年において、国語、算数ともに、学力に課題のある児童の割合が減少しつつある。
- しかしながら、依然として学力に課題のある児童が少なくないことから、引き続き児童一人一人の学習の状況に応じた学びの充実に努めていく必要がある。
- 今年度から通常通り運動場が活用できるようになった。体育の授業では、児童が目標を意識し、「できた」「わかった」を味わえるような授業改善を行ってきたことで、「運動が好き」と回答する児童は、71.1%と目標を達成するとともに、全国体力・運動能力等調査では

男子は男子は8種目中4種目で、女子は女子は8種目中6種目で大阪市平均・全国平均上回った。今後も体力合計点が全国平均以上となるよう、引き続き「運動が好き」と回答する児童を育てるとともに、児童が目標を意識し、「できた」「わかった」を味わえるような体育の授業改善に取り組んでいく。

#### 【学びをさせる教育環境の充実】

○学習者用端末を効果的にかつ日常的に授業等で活用できるよう、研修や啓発に努めたことで、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の77.4%を超えるなど、大きな成果を上げることができた。

●一方で、日常的な活用が進むからこそ、情報モラル学習やセキュリティなど情報社会で生き抜くための資質・能力を育むとともに、ICTを活用した授業の「探究型・創造型」への転換が今後の課題である。

○図書館支援員による休み時間の図書室開放や低学年への読み聞かせなどにより、多くの本に触れる機会を創出できた。今後も引き続き、本を読みたいと思えるような取組を進めていく。

### 中期目標

#### 【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

##### 基本的な方向1 安全・安全な教育環境の実現

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

##### 基本的な方向2 豊かな心の育成

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査の「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.0%以上にする。

#### 【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を、国語・算数ともに、1.00ポイント以上にする。
- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査におけるボリュームゾーンにあたる層の変化率を、国語・算数ともに1.0%以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における学力に課題の見られる児童の割合の全国との差を、国語・算数ともに0%以下にする

##### 基本的な方向5 健やかな体の育成

- 令和11年度の全国体力・運動能力等調査の体力合計点の対全国比を1.00ポイント以上にする。

#### 【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

##### 基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。

##### 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 令和11年度末の、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を20時間以下にする。  
[本市調査]

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

#### 基本的な方向1 安全・安全な教育環境の実現 1-2 不登校への対応

- 令和8年度末の校内調査において、不登校児童生徒の在籍比率を、前年度より減少させる。

#### 基本的な方向2 豊かな心の育成 2-3 人権を尊重する教育の推進

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85.0%以上にする。

### 【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- 令和8年度の小学校学力経年調査における、学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、国語・算数ともに、いずれの学年も前年度より0.1%以上減少させる。(国語：4年23.8% 5年20.4% 6年21.7%)  
(算数：4年15.9% 5年18.9% 6年10.2%)

- 令和8年度の小学校学力経年調査における、「総合的読解力育成カリキュラムに取り組むことで、資料や文章などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んだり、自分の考えを発表するときに、考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表したりしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90.0%以上にする。

#### 基本的な方向5 健やかな体の育成

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する児童の割合90%以上を維持する。(前年度：73.9%)

### 【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

#### 基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70.0%以上にする。

#### 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 教員の時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立海老江東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標			達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> <b>【基本的な方向1】 安全・安全な教育環境の実現 1-2 不登校への対応</b> ▶ 令和8年度末の校内調査において、不登校児童生徒の在籍比率を、前年度より減少させる。(前年度:1.39%) <b>【基本的な方向2】 豊かな心の育成 2-3 人権を尊重する教育の推進</b> ▶ 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85.0%以上にする。			
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標			進捗状況
取組内容	指標	目標値 実績値	
<b>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b> ・ ほっとルームやSCルームを活用し、SCなどの関係各所との連絡を密に行う。	・ 学校アンケート(7、12月)「毎日学校に楽しく来ていますか。」の肯定的な回答の割合。	85.0% 以上	
<b>【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b> ・ 生きる力を育む「性に関する指導」(性・生教育)や道徳・人権教育などの1年間の指導計画を活用し重点的に実践する。	・ 生命のアンケート「一人一人が大事な存在であると思いますか。」の肯定的な回答の割合。	85.0% 以上	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
次年度への改善点			

大阪市立海老江東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標			達成状況
<b>最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <b>基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</b> ▶ 令和8年度の小学校学力経年調査における、学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、国語・算数ともに、いずれの学年も前年度より0.1%以上減少させる。 （国語：4年23.8% 5年20.4% 6年21.7%） （算数：4年15.9% 5年18.9% 6年10.2%） <b>4-1 言語活動・理数教育の充実（思考力・判断力・表現力の育成）</b> ▶ 令和8年度の小学校学力経年調査における、「総合的読解力育成カリキュラムに取り組むことで、資料や文章などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んだり、自分の考えを発表するときに、考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表したりしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90.0%以上にする。 <b>基本的な方向5 健やかな体の育成5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進</b> ▶ 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合90%以上にする。(前年度：89.9%)			
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標			進捗状況
取組内容	指標	目標値 実績値	
<b>【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ・ 授業や短時間学習（モジュール）において、個別最適な学習を追求するとともに、各学年・学級の課題に応じたアプローチができるような取組を行う。	・ 令和8年度の小学校学力経年調査における、学力に課題の見られる児童の割合（国語・算数）	いずれの学年も前年度より0.1%以上減少	
<b>【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ・ 「総合的読解力育成カリキュラム」に基づく読解力の育成に毎週1時限以上授業として取り組み、読み取った資料から自分の考えを整理し、さまざまに表現する機会を増やす。	・ 令和8年度の校内アンケートにおける「資料や文章などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる」に対して、肯定的に回答する児童の割合	85%	
<b>【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b> ・ 体育科授業で運動の楽しさ（特性）に十分触れるようにする。 ・ 運動場の環境を整備し、休み時間の外遊びを楽しむことができる工夫を行う。	・ 令和8年度の学校アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回	90%	

	答する児童の割合		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
次年度への改善点			

大阪市立海老江東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標			達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> <b>【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b> ▶ 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70.0%以上にする。 <b>【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> ▶ 教員の時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員を0%にする。			
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標			進捗状況
取組内容	指標	目標値	
		実績値	
<b>【基本的な方向6 教育DXの推進】</b> ・スライドやPowerPoint、CANVAなどのツールを活用して、学期に1回程度学習者用端末を用いた、「まとめ・表現する」取り組みを行う。	・校内アンケートにおいて、3年生以上の児童が「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合	70%以上	
<b>【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> ・週1回のゆとりの日や月2回の定時退勤デーの設定を行う。	・時間外勤務時間について、月70時間以上実施する教員の割合	0%	

<p>【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本が読みたくなるような環境作りや学級文庫の整備、年1回以上の学級貸し出しや福島図書館の利用を行い、多くの本に触れる機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校アンケートにおいて、「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合</li> </ul>	80%以上	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
次年度への改善点			